

2019年12月期第2四半期 決算説明

2019.8
株式会社ビジョン
証券コード：9416

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により、実際の実績と異なる可能性があることをご承知ください。

- 2019年12月期第2四半期決算概要（連結）
- 業績推移
 - グループ全体
 - グローバルWiFi事業
 - 情報通信サービス事業
- 今期（2019年12月期）業績予想
- トピックス

2019年12月期第2四半期決算概要（連結）



売上高、各利益とも過去最高値を更新。

(百万円、%)

科目	FY2018年12月期 2Q実績			FY2019年12月期 2Q実績	
	金額	構成比		金額	構成比
売上高	9,855	100.0	+31.3%	12,937	100.0
売上総利益	5,819	59.0	+28.8%	7,496	57.9
営業利益	1,236	12.5	+36.7%	1,690	13.1
経常利益	1,245	12.6	+34.4%	1,673	12.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	809	8.2	+32.9%	1,075	8.3

通期業績予想修正



業績予想修正（上方修正）

最近の業績動向を踏まえ、2019年12月期通期業績予想を修正。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,470	3,012	3,013	2,003	123.49
今回修正予想 (B)	25,793	3,264	3,248	2,116	130.38
増減額 (B - A)	1,322	252	234	112	
増減率	+5.4%	+8.4%	+7.8%	+5.6%	
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期)	21,503	2,484	2,499	1,529	94.2

今期（2019年12月期）業績予想(修正)



2019年12月期第2四半期実績を踏まえ **通期業績予想 修正** (百万円、%)

売上高：前年同期比**19.9%増**、営業利益：前年同期比**31.4%増**。

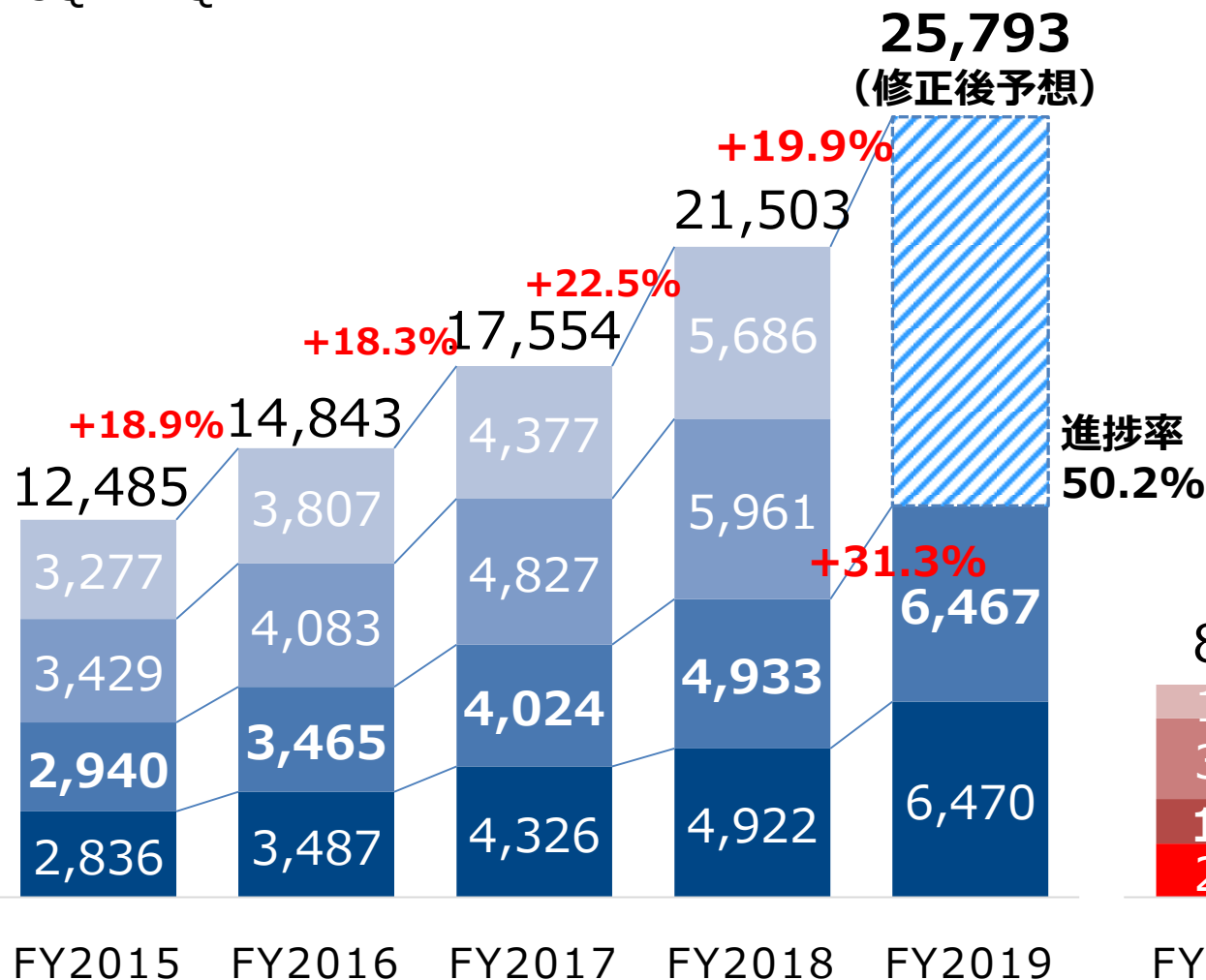
科目	FY2018実績			FY2019予想	
	金額	構成比		金額	構成比
売上高	21,503	100.0	+19.9%	25,793	100.0
売上総利益	12,650	58.8	+19.3%	15,094	58.5
営業利益	2,484	11.6	+31.4%	3,264	12.7
経常利益	2,499	11.6	+29.9%	3,248	12.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,529	7.1	+38.4%	2,116	8.2

グループ全体 業績推移



■ 1Q ■ 2Q
■ 3Q ■ 4Q

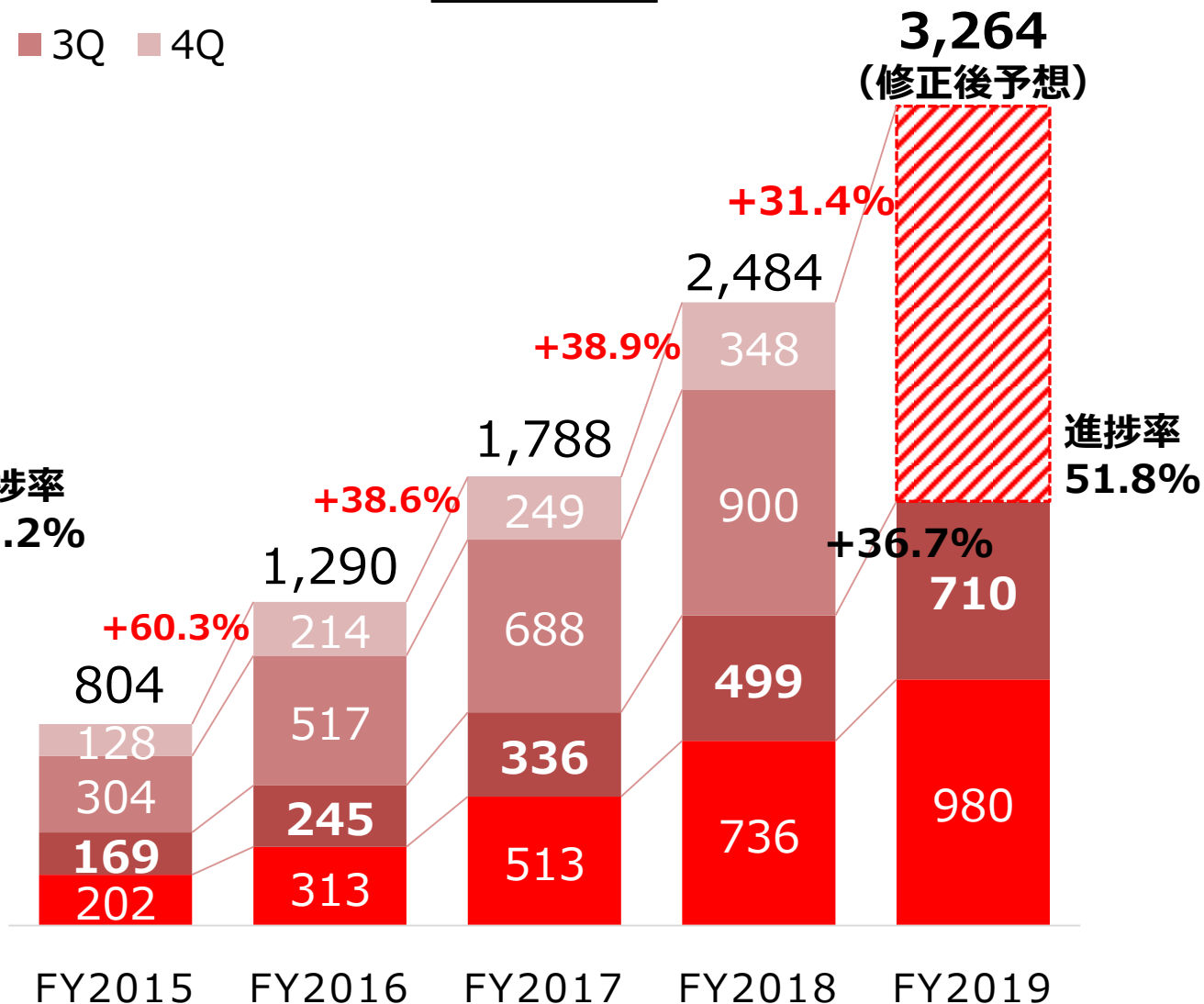
売上高



■ 1Q ■ 2Q
■ 3Q ■ 4Q

営業利益

(百万円)



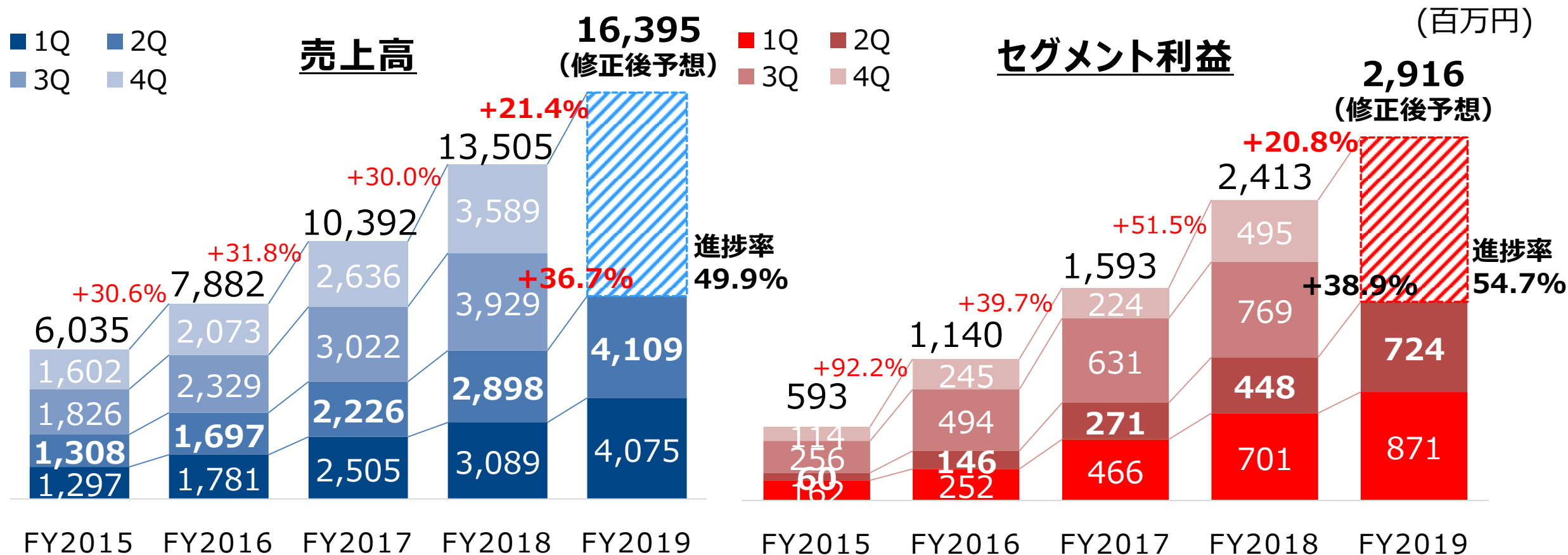
(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

グローバルWiFi事業 業績推移



日本から海外への渡航者および訪日外国人ともに過去最多。順調に推移し、増収増益を継続。

- 利用浸透率※の向上。(利用シェア向上)
2018年：14.9% (通期) ⇒2019年2Q累計：17.9% (約3.0ポイント上昇)
- 法人を中心に無制限プラン及び社内常備型「グローバルWiFi for Biz」が好評を博し出荷数増加。
- 原価効率及びオペレーションの改善等、収益性向上施策の継続的な取り組み。



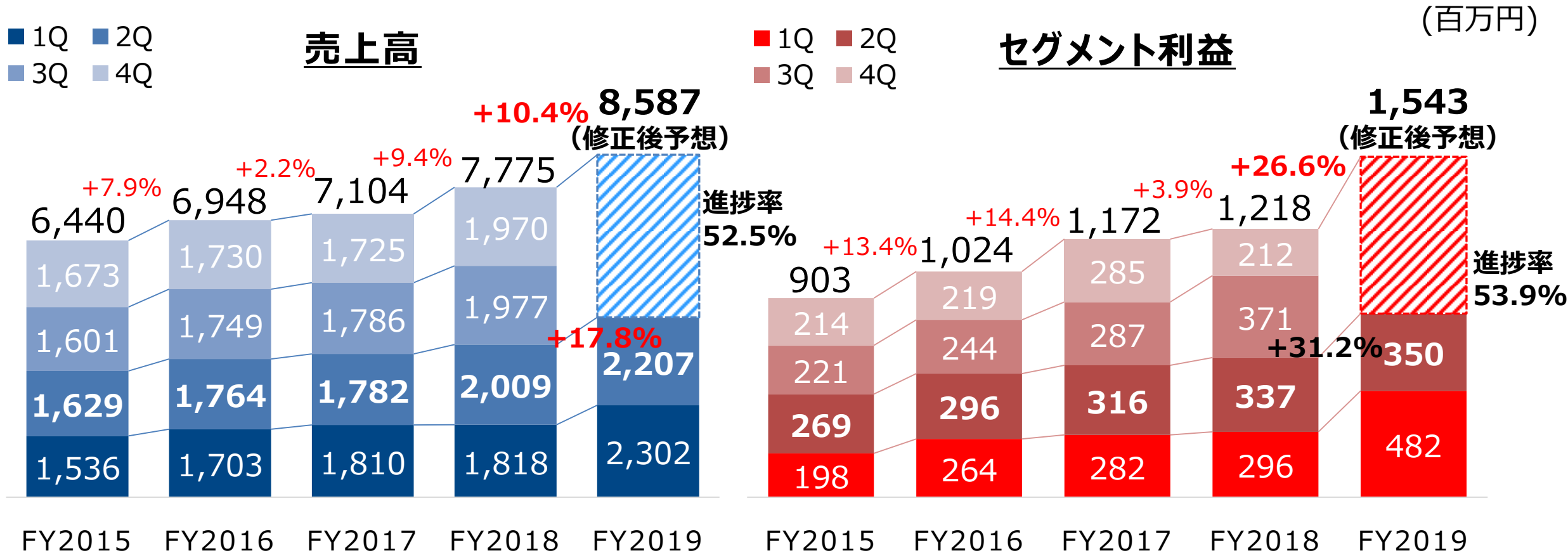
(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

情報通信サービス事業 業績推移



増収増益。安定成長を継続。

- 主要顧客（新設法人・ベンチャー企業）の獲得が、引き続き順調。
- CRMによる継続取引の積み上げ（ストックモデル）。
- アップセル／クロスセル戦略による積み上げ。
 - ・ 自社サービス（クラウド型ワークフローサービス）及び各成長ステージに合わせたコンサルティング業務の獲得が好調に推移。



(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

「クラウドWiFi」活用推進

- クラウド上でSIMを管理する次世代型の通信技術搭載Wi-Fiルーター。
 - SIMの挿入・交換作業不要。
 - 1台で世界中の通信回線の利用可能。
- 出荷レンタル端末中 90%以上で推移
(2018年6月：約77%⇒2019年6月：約93%)
 - ※自社契約のSIMを活用した差別化。
 - ※通信キャリアによっては対応できない国もあり約90%前後が上限。

- 活用効果：
 - 通信原価率低減（通信回線利用効率向上）
 - 出荷・運営オペレーション省力化（販売管理費低減）
- 活用サービス：
 - 「グローバルWiFi for Biz」提供
 - オフィスに常備（都度レンタル手配等不要）
 - 国内通信月間3GBまで無料提供（普段使い可能）
 - 空港カウンターの在庫拡充・対応エリア拡大
- 世界初、クラウド対応スマホ型Wi-Fiルーター「GW01」レンタル提供開始（8月1日～）
 - 厚さ▲59%、重さ▲25%、最大12時間連続利用可能



- スマートフォンアプリの多様化、容量の多い画像や動画の送受信、SNS投稿等、データ通信容量が多く消費される傾向。
 - 友人やご家族等、複数人でシェアする利用が増加。
- ⇒通信容量を気にせず使えるプランを望む声に答え提供エリアを拡大。
⇒ビジネスユースに好評（ARPU向上）



容量 **無制限プラン登場** **NEW**

さらにエリア拡大しました **71ヶ国** 対応中

容量無制限プランとは？
容量を気にせず利用したいというお客様の声から、ご利用容量に制限がない「無制限プラン」が誕生しました。



新スタイル店舗（無人店舗）設置

● 新スタイル店舗（初出店）

－ 北九州空港

- 九州唯一の24時間対応空港。
- 空港内初のプリペイドカードSIM自販機の設置。

－ 受渡し・返却対応が可能な無人店舗。

－ 訪日外国人客、一時帰国される方を中心に日本用プリペイドSIMの自動販売機（当社グループ初）設置。

－ ニーズがあっても人材確保の難しい早朝・深夜も含め、24時間対応可能。

－ 省スペース低コストで、タッチポイント増設の展開が加速する為、利便性の向上と収益増加が図れる。





Pro Drivers

- ✓ 荷物と一緒に移動
- ✓ 2時間単位で利用可能
- ✓ 最大9人で利用可能 (割り勘でお得)

活用 (顧客基盤の活用)

- **ハイヤータイムシェアリングサービス事業**
- 空港送迎・役員送迎等、ビジネス・日常共にあらゆる移動を快適にするサービス。

グローバルWiFi事業の顧客基盤 (訪日外国人旅行客含) の活用。

- 情報通信サービス事業の顧客、新規需要客もターゲット。
- 国内：都内から開始。パートナー展開も含め、全国主要都市に順次展開予定。
- 海外：「SmartRyde」(資本業務提携先DLGB社運営)

株式分割の目的

株式分割を行い投資単価当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様が投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的としております。

株式分割の概要

分割の方法 2019年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたします。

分割により増加する株式数
分割前の発行済株式総数：16,341,000株
今回の分割により増加する株式数：32,682,000株
株式分割後の発行済株式総数：49,023,000株
株式分割後の発行可能株式総数：123,000,000株

分割の日程
基準日公告日：2019年9月13日（金曜日）
基準日：2019年9月30日（月曜日）
効力発生日：2019年10月1日（火曜日）

株主優待制度の実質拡充

実質拡充の内容 2019年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主の皆様方より変更を適用。株式の分割後も従来の基準と同一の保有株式数に応じた「株主優待券」を贈呈いたします。

その他

資本金の金額の変更 今回の株式分割に際しまして、資本金の額の変更はありません。

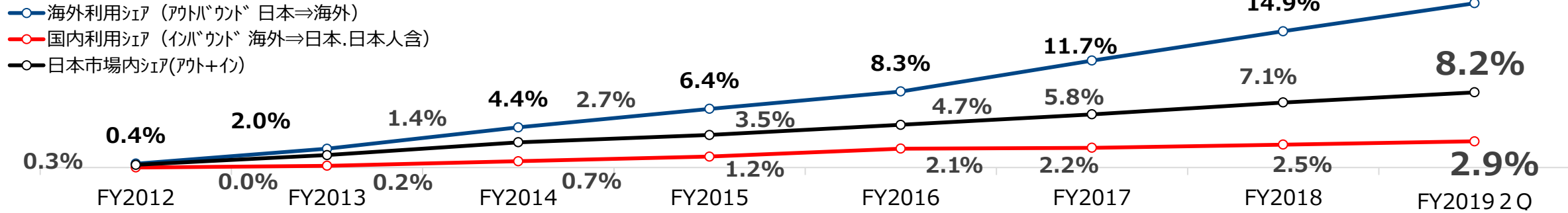


世の中の情報通信産業革命に貢献します。

グローバルWiFi事業 成長ストーリー

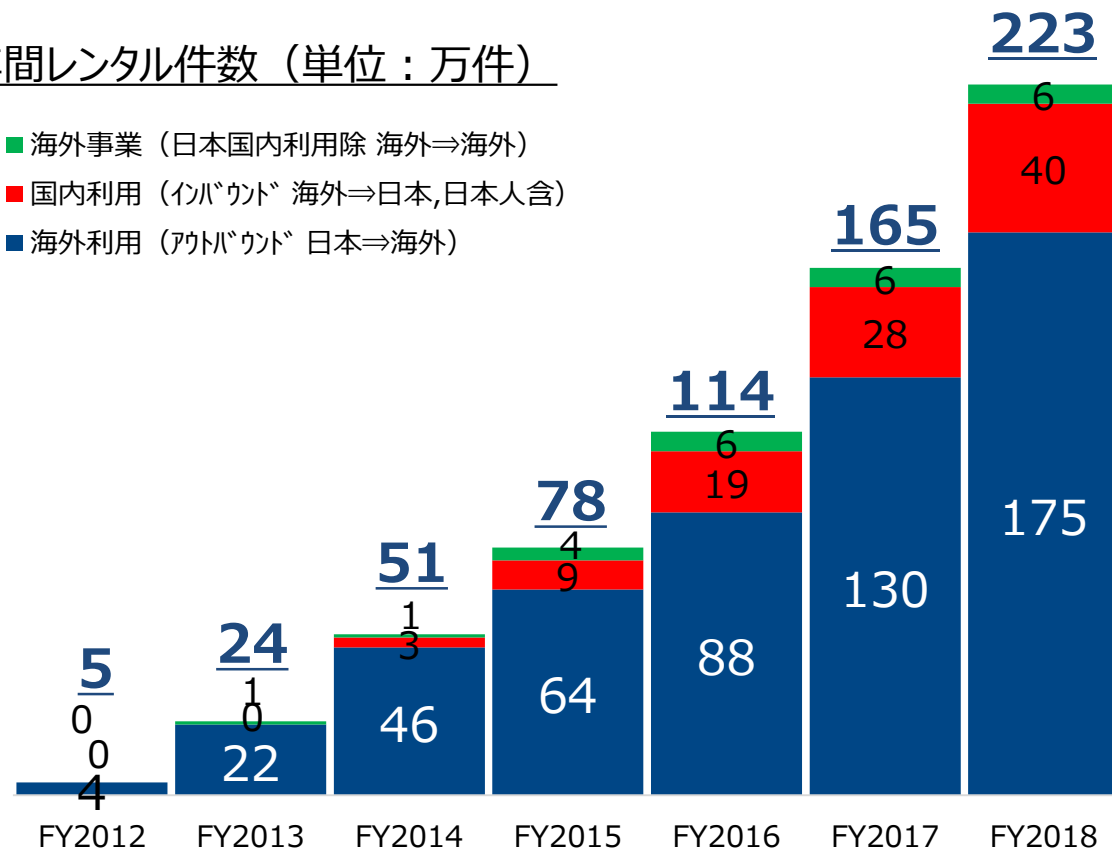


当社WiFiレンタルサービス利用浸透率（日本）※

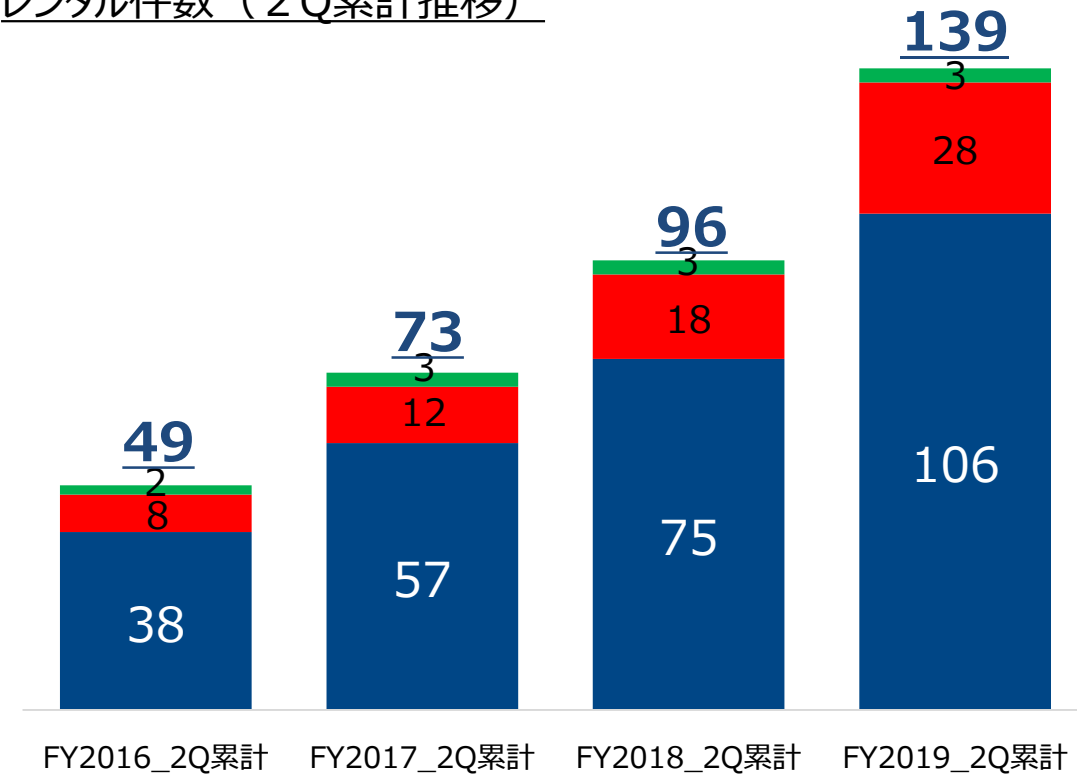


年間レンタル件数（単位：万件）

- 海外事業（日本国内利用除 海外⇒海外）
- 国内利用（インバウンド 海外⇒日本,日本人含）
- 海外利用（アウトバウンド 日本⇒海外）



レンタル件数（2Q累計推移）



将来見通しに関する注意事項



本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社ビジョン

- お問い合わせ： IR部 ir@vision-net.co.jp